

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

<b>事業所名</b>	ゆうあいグループホーム
日付	平成17年11月7日
<b>評価機関名</b>	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での看護業務歴33年(内老人病棟で18年)、家族介護歴7年  病院での認知症高齢者の看護、介護業務歴36年
<a href="#">自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)</a>	
<a href="#">評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)</a>	
<a href="#">事業所のコメントを見る(評価結果に対する事業所の改善状況についてコメントがあります!)</a>	

外部評価の結果

<p>講評</p> <p>全体を通して(特に良いと思われる点など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人代表者は、認知症ケアに対しての高い理念をもたれており、自ら実践されています。全職員にも、その意義・目的は浸透しています。</li> <li>・法人全体が「接遇」に力を入れて取り組んでおられます。職員は、認知症高齢者の特性、立場を理解されており、笑顔と優しい言葉かけ、タッチングを交えながら、落ち着いて穏やかに対応されています。入居者の表情は明るく、生き生きと、その人らしく生活しておられます。</li> <li>・入居者は施設内で住民会(自治会)をつくられています。自治会長を中心に、献立、日常の楽しみごと、行事、日帰り旅行のプランなど、職員と共に全員で話し合いをして、決めておられます。</li> <li>・入居者は、地域の老人クラブに入会されており、旅行などの行事にも参加されています。関連施設のイベントや、地域の行事にも積極的に参加しておられます。</li> <li>・職員は、入居者が主体となり、得意な分野で役割を持てるように、それぞれの力を引き出す努力をされています。入居者の生活を大切に、その人らしい生活を送ることができるように、日々の取り組みをされています。</li> </ul> <p>特に改善の余地があると思われる点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔内の清潔保持について、朝夕は声かけ、支援ができていますが、昼食時は、入居者の自主性に任されており、職員からの促しがみられませんでした。毎食後、個々に必要な支援を行えるような取り組みを検討されてはいかがでしょうか。</li> <li>・紙おむつ使用者に対して、排泄パターンや兆候を把握して、前誘導をするような取り組みがみられませんでした。排泄の自立に向けた取り組みを検討されてはいかがでしょうか。</li> <li>・さらにサービスの質が向上するようとの思いで、次の点を提案させていただきます。記録類や伝達ノートなどはきちんと作成され、整理されていました。しかし、読んだ人のサインが少なく、周知されているのか否かが分かりにくいと感じました。全員が、読んだらサインするなど、伝達方法を徹底されてはいかがでしょうか。</li> </ul>
--

運営理念

番号	項目	目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有			
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住みなれた地域の中で、入居者の個別的な生活を支援したいと願われています。</li> <li>・入居者が、温かい家庭的な環境の中で、安心して暮らしていけるよう、寄り添うケアをめざされています。</li> <li>・お互いにストレスをためないよう、入居者と職員はなんでも話し合える関係を築いていきたいと考えられています。</li> <li>・「癒される心はあなたの笑顔と態度から」という接遇目標を掲げ、実践されています。職員も心から楽しいと感じられるホームにしたいと願っておられます。</li> </ul>				

生活空間づくり

番号	項目	目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり			
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり			
4	建物の外周リや空間の活用			
5	場所間違い等の防止策			
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの生活歴を重視し、画一的なケアにならないよう取り組まれています。</li> <li>・入居者が主人公となり、その人らしい生活ができるような関わりをされています。</li> <li>・地域の老人クラブにも入会されており、常時なじみの人の出入りがあるよう、住みなれた地域での生活を支援されています。</li> <li>・帰宅願望の強い方には、できるだけ希望をかなえてさしあげ、落ち着いて生活できるように支援されています。</li> <li>・タッチング・笑顔・優しい言葉かけなど、寄り添いのケアを実践されています。</li> <li>・受け持ち制を取り入れ、入居者と職員が深い信頼関係を築けるよう取り組まれています。</li> </ul>				

ケアサービス

番号	項目	目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映			
7	個別の記録			
8	確実な申し送り・情報伝達			
9	チームケアのための会議			
10	入居者一人ひとりの尊重			
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ			
12	入居者のペースの尊重			
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援			
14	一人でできることへの配慮			
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫			
16	食事を楽しむことのできる支援			

ケアサービス(つづき)

番号	項目	目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援			
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮			
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援			
20	プライドを大切にした整容の支援			
21	安眠の支援			
22	金銭管理と買物の支援			
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保			
24	心身機能の維持			
25	トラブルへの対応			
26	口腔内の清潔保持			
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応			
28	服薬の支援			
29	ホームに閉じこもらない生活の支援			
30	家族の訪問支援			
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシーの保護のために取り組んでいるものは何か。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹細工の経験のある入居者は、関連施設にボランティアで竹細工指導に行くほどに認知症の改善がみられています。入居時にできなかったことができるようになり、入居者の生きがいにつながっています。</li> <li>・面会簿はカード形式にしてポストに入れるようにしてあり、プライバシー保護に配慮されています。</li> <li>・入居時には「個人情報使用同意書」、「個人情報保護に関する確認書」で本人、家族の同意を得ておられます。</li> </ul>				

運営体制

番号	項目	目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映			
32	家族の意見や要望を引出す働きかけ			
33	家族への日常の様子に関する情報提供			
34	地域との連携と交流促進			
35	ホーム機能の地域への還元			
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関入口に、意見箱を設置されています。苦情があれば法人内で一体となって、処理・解決に努められています。</li> <li>・「事故発生時対応マニュアル」が、整備されています。発生時には、要因について話し合い、再発の防止に向けて取り組まれています。具体的な知識や対応の仕方については、関連施設の看護師長から研修・指導を受けておられます。</li> <li>・「ヒヤリハット報告書」を作成されています。全員で対処方法を検討され、事故防止に取り組まれています。</li> <li>・入居者個々の介護計画の留意点を職員が把握しやすいように、一覧にしてカードケースに入れるなど、工夫がみられます。</li> </ul>				